

## PRIMERGY BX900 S1 シャーシ ご使用上の注意

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品に添付されておりますマニュアル類の内容に追加および訂正事項がございましたので、ここに謹んでお詫び申し上げますとともに、マニュアルをご覧になる場合に下記に示します内容を合わせてお読みくださるようお願いいたします。

2009年7月  
富士通株式会社

### 1. 保守作業についてのお願い

#### ■ 保守作業での IP アドレスの借用について

本装置の保守作業では、保守用端末をマネジメントブレードの LAN ポート (Down) または、管理ネットワークのハブへ接続する場合があります。その場合、下記の目的で IP アドレスを借用させて頂く場合があります。予め、最低3つの IP アドレス (同一セグメントの必要があります) を用意してください。

- ① 保守用端末に設定する IP アドレス
- ② マネジメントブレード管理 LAN への一時設定用の IP アドレス
- ③ サーバブレードの iRMC への一時設定用の IP アドレス

#### ■ 保守作業時のお願いについて

本装置では、下記的前提条件を基に保守作業を実施いたしますので、保守作業を実施する場合に備えて対応をお願いいたします。

- ① PRIMERGY BX900 シャーシ添付の RS232C ケーブルを使用する場合がありますので、紛失しないよう、保管してください。
- ② 保守用端末 (ノート PC など) を使用する場合がありますので、本装置の設置場所の近くに 100V 電源用のサービソコンセントを用意してください。
- ③ 保守作業には、マネジメントブレードへのログインが必要となります。予め、保守員へログイン ID およびパスワードをお知らせ頂くか、作業実施時にログインをお願いする場合があります。

### 2. PRIMERGY BX900 S1 シャーシに関する留意・注意事項

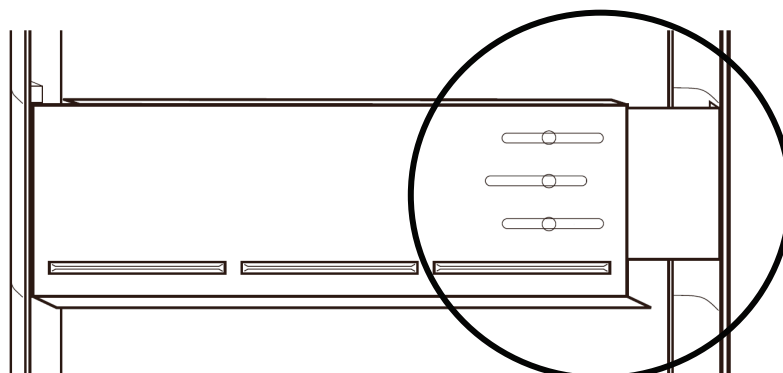
本書に記載されていないその他の留意・注意事項については、「PRIMERGY」ページの「ブレードサーバ」 (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/blade/>) をご覧ください。

### 3. 『ラック搭載ガイド』 B7FH-6111-01 への訂正事項

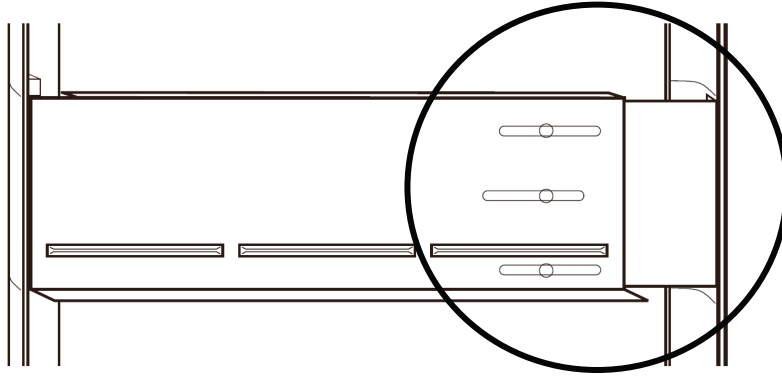
#### 訂正 「ラックマウントキット」 ラックレール (2本1組) の形状について

『ラック搭載ガイド』に記載されております「ラックレール」の形状について、次のような変更があります。

誤)



正)

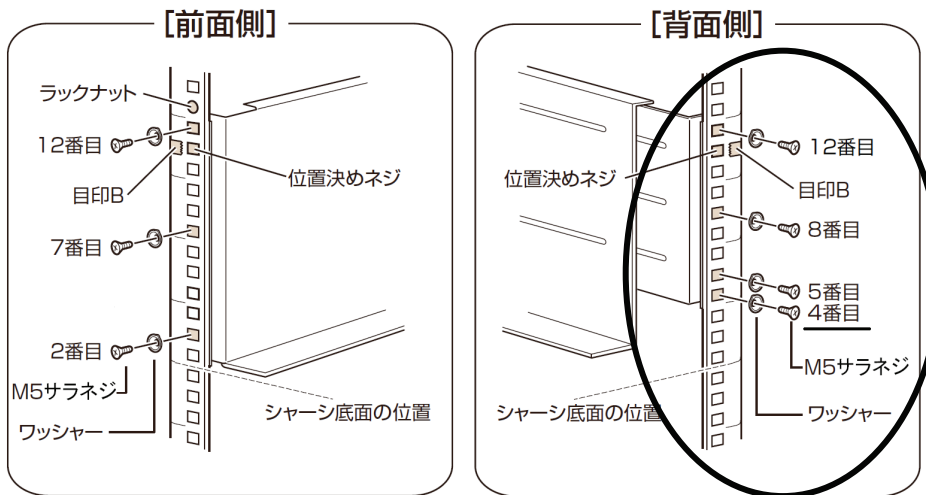


**訂正**

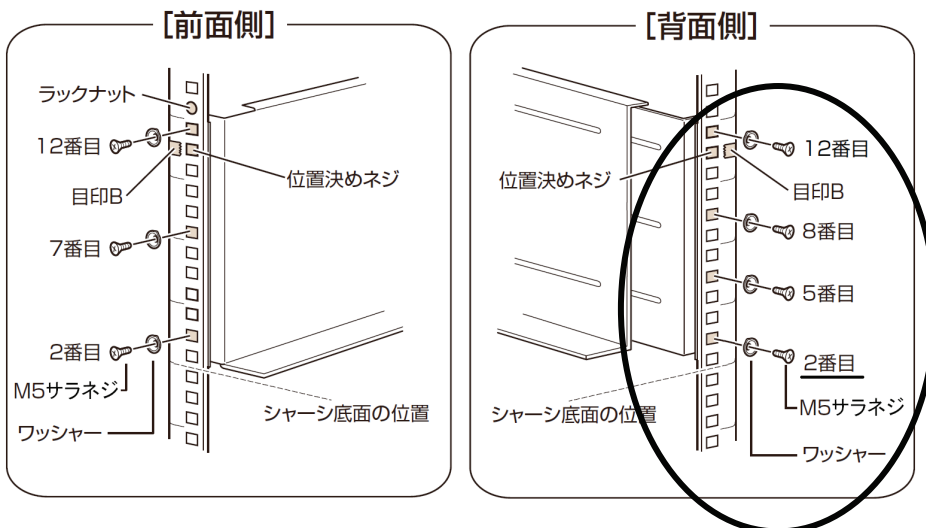
#### 「4 ラックレールを取り付ける」手順の訂正

「ラックレール」の変更に伴い、背面側の M5 サラネジ取り付け位置は、下線のように 4 番目から 2 番目になります。

誤)



正)



## 4. 『PRIMERGY BX900 S1 シャーシ ハードウェアガイド』 B7FH-6111-01 への訂正事項

### 訂正 2.2.1 電源を入れる (関連ページ : P. 35)

太字下線部が訂正箇所です。

#### 誤) POINT

- マネジメントブレードの「自動インベントリ収集 (Automatic Inventory Retrieval)」が「Automatic」に設定されている場合 (お買い上げ時の状態)、シャーシの電源を入れた直後に、すべてのサーバブレードの電源が断続的に入/切を繰り返します。これは故障ではありません。詳しくは、『マネジメントブレード ユーザーズガイド』をご覧ください。

#### 正) POINT

- マネジメントブレードの「自動インベントリ収集 (Automatic Inventory Retrieval)」が「Automatic」に設定されている場合、シャーシの電源を入れた直後に、すべてのサーバブレードの電源が断続的に入/切を繰り返します。これは故障ではありません。詳しくは、『マネジメントブレード ユーザーズガイド』をご覧ください。

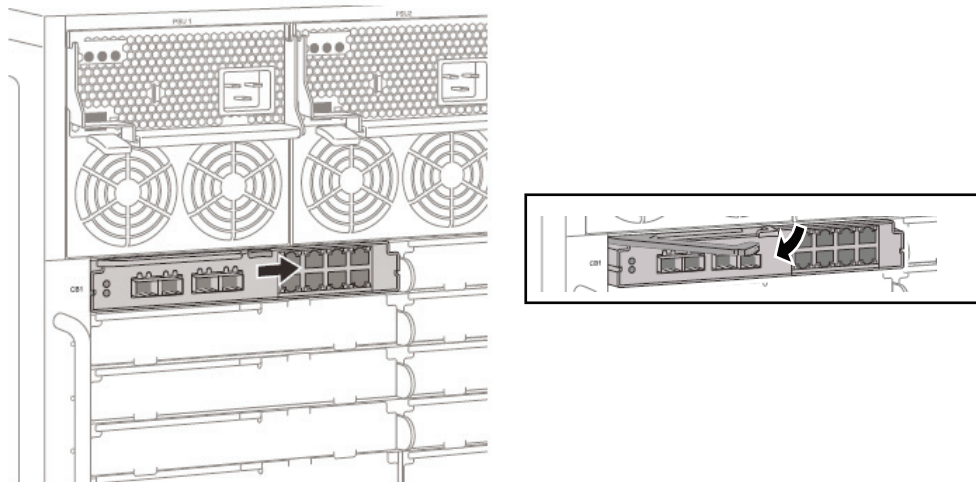
### 訂正 3.3.2 取り付け/取り外し手順 (関連ページ : P. 56)

太字下線部が追加箇所です。

#### ■コネクションブレードの取り外し手順

5 コネクションブレードを取り外します。

1. リリースラッチを右にスライドさせて、リリースレバーを開放します。  
リリースレバーが少し開きます。  
リリースレバーが動かない場合は、手で引き出してください。



(イラストは状況により異なります)

## 5. 『マネジメントブレード ユーザーズガイド』 B7FH-6141-01 への訂正事項

### 訂正 ファンテストについて (関連ページ : P. 52、P. 154、P246)

以下の記述を追記します。

本マネジメントブレードでは、ファンテスト機能は未サポートです。使用しないでください。

**訂正** SNMP V3 トラップについて (関連ページ : P. 108、P. 136、P137、P254)

以下の記述を追記します。

本マネジメントブレードでは SNMP V3 のトラップ機能は未サポートです。使用しないでください。

**追記** 3.1 SVMF の起動 (関連ページ : P. 37)

以下の記述を追記します。

**重要**

ServerView Management blade Frontend (SVMF) への同時接続数は最大 32 接続となります。接続数が多くなると、マネジメントブレードの応答速度が低下する場合があります。

**訂正** 4.1.1 CLI の接続方法 (関連ページ : P. 121)

太字下線部が訂正箇所です。

誤) ■ネットワークインターフェース経由で CLI を使用する

**重要**

- Telnet はマネジメントブレードに対して同時に 1 セッションしか開けません。
- Telnet のクライアントソフトは「VT100」の設定にする必要があります。設定方法については、ご使用のクライアントソフトのマニュアルをご覧ください。

正) ■ネットワークインターフェース経由で CLI を使用する

**重要**

- Telnet はマネジメントブレードに対して同時に 32 セッション接続できます。ただし、接続数が多くなるとマネジメントブレードの応答速度が低下する場合があります。
- Telnet のクライアントソフトは「VT100」の設定にする必要があります。設定方法については、ご使用のクライアントソフトのマニュアルをご覧ください。

**追記** 5.3 その他の留意事項 (関連ページ : P. 236)

以下の記述を追記します。

■電源ケーブル取り外し時に記録されるイベントログの注意事項

シャーシから電源ケーブルを取り外したり、UPS による電源オフを行った場合、マネジメントブレードのイベントログに下記のようなログが記録される場合がありますが、AC 電源をオフしたことによって発生したログですので、無視してください。

```
Minor : Server Blade-%d Power on failed because of over power budget
%d はサーバブレード番号
```

■マスターモードとスレーブモードの切り替え時に記録されるログについて

マネジメントブレードのマスターモードとスレーブモードの切り替えを行った時、マネジメントブレードのイベントログに次のイベントが記録される場合がありますが、問題ありませんので無視してください。

```
Critical Ekey: failed to access ISMIC Interface of Connection Blade-%d
(%d はコネクションブレードのロット番号)
```

以上